

みどり

第37号

By Landscape Architecture

2023 新春号



第4回みどりの景観フォトコンテスト入賞作品
撮影者：藤井聡美氏



一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会
<http://www.hokuzoukyou.or.jp>

みどり

By landscape architecture

2023 第37号

目次

巻頭挨拶

(一社)北海道造園緑化建設業協会 会長
北海道開発局長
北海道知事
札幌市長

嘉屋幸浩 1
石塚宗司 2
鈴木直道 3
秋元克広 4

令和4年 後期の事業の主なもの

研修等の事業

北大大学院農学研究院での出前講座	5
札幌市立大学デザイン学部での出前講座	5
当別高校 現場見学会	6
北大大学院 現場見学会	7
経営者研修会	8
庭園樹剪定技術講習会（北造協札幌支部）	9
第2回安全パトロール・公園工事編（北造協札幌支部）	9

普及啓発等の事業

造園技術講演会	10
緑麗会 大通花壇造成	12
緑麗会 大通花壇の撤去作業	13

要望活動の推進	14
---------------	----

令和4年度 国土交通大臣表彰受賞式	17
-------------------------	----

コラム「現場見学会に参加して」

北海道大学農学部 花卉・緑地計画学 3年 宮 島 凜・野 村 康 太・吉 野 航 大・佐 藤 舜 紀 ...	18
---	----

北造協同好会の活動報告	20
-------------------	----

協会の動き 令和4年7月～12月	21
------------------------	----

協会組織	22
------------	----

会員名簿	23
------------	----

編集後記	28
------------	----

総務委員長 廣 部 修 平



新年ごあいさつ

一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会 会長
嘉 屋 幸 浩



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。この一年が皆様にとって、素晴らしい年になりますよう、心から祈念しております。また、平素より協会運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルスが収まりを見せない状況で始まり年末に向けて第8波が猛威をふるっていました。そんな中、昨年11月21日から行われたFIFAワールドカップ・カタール2022で日本代表が欧州の強豪国ドイツとスペインに逆転勝ちし日本中に勇気と希望を与えてくれました。26人中19人が海外で活躍している選手ということです。昨年はサッカー以外にも大谷翔平や松山英樹、井上尚弥選手などスポーツでも日本人が世界レベルで戦える事を証明してくれた年でした。この若者たちを誇りに思います。

さて、昨年は第39回全国都市緑化北海道フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」が開催されました。1986年さっぽろフェア以来の北海道での開催でしたが、コロナ禍の中にも関わらず目標来場者数の30万人を超える34万人が来場され花と緑あふれた会場と雄大な北海道を体験して頂けたと思っております。このフェアを機に、緑豊かな潤いのある都市づくりに理解を深め都市緑化意識の高揚が図られ、今後の都市の街づくりに活かされること期待したいと思っております。

この長く続いているコロナ禍の中で、我々が携わる身近な公園や緑地が、人々の健全な生活を送るために重要なインフラであることの再認識がされた事は、厳しい状況の中での大きな収穫であります。そして都市の中の街路樹や緑地は、世界が取組を進めている「2050年カーボンニュートラル」にも少なからず貢献できるものと考え、より一層の期待に応えるべく造園業界においては引き続き働き方改革への対応、担い手の確保、育成対策にしっかり対応していかなければなりません。これらの課題の多くは、一企業では解決出来ないものもあり大きな変化の時代、協会の役割はますます重要となります。今後とも造園建設業の発展と社会的使命を果たすべく、緑を通じて、地域社会にとって存在意義のある団体であるよう、努力を重ねてまいります。

本年も皆様方のご指導、ご協力、ご支援を宜しくお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年 年頭挨拶

国土交通省 北海道開発局長

石 塚 宗 司



明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお喜びを申し上げますとともに、平素から北海道開発行政の推進に特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、依然、新型コロナウイルス感染症は猛威を振るい北海道の社会・経済にも甚大な影響を及ぼしたほか、ロシアのウクライナ侵攻により世界の食料危機が深刻化するなど、我が国を取り巻く情勢は急速かつ劇的に変化しております。

このため、北海道開発行政も臨機応変に、かつ、時期を逸することなく対応していく必要があることから、2050年の長期を見据えつつ、新たな北海道総合開発計画の策定に向けた検討が進んでいます。

北海道開発局としても、引き続き、第8期北海道総合開発計画を着実に推進しつつ、未来を見据えた新たな取組に果敢に挑戦してまいります。

第8期北海道総合開発計画の推進に関しては、食と観光を担う「生産空間」の維持・発展に向け、デジタル技術の活用を図りつつ、スマート農業に対応した農地の大区画化など農林水産業の生産基盤の強化、物流ネットワークの整備等を推進するとともに、旅行者の受入環境の整備など、北海道内各地の地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり等を進めてまいります。

このほか、近年は全国的に大雨、地震等による大規模災害が頻発しており、北海道においても2018年の北海道胆振東部地震等により大きな被害が発生したところです。引き続き、被災した地域の早期復興を図るとともに、自治体等への支援を行ってまいります。

また、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の発生も切迫しており、自然災害に屈しない強靱な国土づくりをより強力に進める必要があります。このため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進め、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の本格的実践、総合的な土砂災害対策の加速化、地震津波対策の推進、インフラの老朽化対策、災害時における人流・物流の確保のための交通ネットワーク整備等に取り組めます。

「2050年カーボンニュートラル」の実現については、北海道開発局の主な役割であるインフラ整備・管理を通じてグリーン社会の実現に向けた貢献をしてまいります。

2021年8月には、地域脱炭素の取組の先導役となることが期待される北海道地域を支援するため、国において「ゼロカーボン北海道」タスクフォースが設置され、当局も参画しているところであり、地域における脱炭素の取組に関し、関係機関と連携しながら効果的な支援をしてまいります。具体的には、発生木材バイオマス資源情報の共有及び道の駅を活用した次世代自動車普及促進を推進します。

さらに、インフラ分野においても、道内建設業において率先してカーボンニュートラルの取組を進めるため、北海道、札幌市等と連携し、「北海道インフラゼロカーボン試行工事」を実施するとともに、道路照明灯のLED化等のほか、湿原の保全・再生に向けた取組や千歳川遊水地群におけるタンチョウも住めるまちづくりなど、自然環境が有する多様な機能を積極的に活用するグリーンインフラを推進します。

また、令和2年7月にオープンした「民族共生象徴空間（ウポポイ）」については、アイヌ文化の素晴らしさを体験し、民族共生の理念に共感してもらえるよう、新型コロナウイルス感染症対策の措置を講じた上で、コンテンツの充実を図りながら誘客促進に向けた広報活動を行ってまいります。

昨年末、過去の工事の積算において不適正な支出処理を確認しました。このため、外部有識者を委員とする第三者委員会を設置し、事実関係解明及び原因究明のための調査を実施し、再発防止のあり方について提言いただくことといたしました。その結果を踏まえ、再発防止及び公務の信頼性確保に向け、取り組んでまいります。

結びになりますが、皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和5年 知事年頭所感

北海道知事

鈴木 直 道



新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化に伴うエネルギーや原材料等の価格高騰や円安基調などにより、道民の皆様の生活や事業者の方々の経営環境に大きな影響が及びました。また、記録的な大雪による交通障害や高病原性鳥インフルエンザが発生したほか、知床沖で発生した観光船遭難事故は多くの尊い命が失われる大変痛ましいものとなりました。

道民の皆様の安全・安心を守る重要性を改めて認識した1年となりましたが、本年においても、感染症をはじめとする様々なリスクへの対応に万全を期してまいります。また、物価高騰等への対応など足下の影響を緩和しながら、将来の成長につながる取組を後押しし、道民の皆様の暮らしの安心と本道経済の活性化を図ってまいります。

一方、コロナ禍など困難な状況にあっても、北海道の魅力が広く発信された1年ともなり、北海道のアンテナショップ「どさんこプラザ」を道外に新たに3店舗出店したほか、3年ぶりに開催された「北海道マラソン2022」には、過去最多の約1万8千人が参加し、「ガーデンフェスタ北海道2022」では、恵庭市のメイン会場をはじめ全道各地の協賛会場に多くの方々にご来場いただきました。また、ふるさと納税の寄附受入額が、個人版・企業版とも、3年連続で全国1位となったほか、首都圏からの本社移転や、サテライトオフィス開設などの動きも引き続き活発となりました。

道民の皆様、そして北海道を応援してくださる多くの方々から、ご理解とご協力をいただいたことに、改めて感謝申し上げます。

新しい年においては、脱炭素化やデジタル化といった社会変革の動きの本格化や、世界的な食料需給を巡るリスクの顕在化を踏まえ、「エネルギー」「デジタル」「食料」の3つの分野への対応がより大切となります。

世界的に関心が高まっている脱炭素化に向けては、本道の強みである豊富な再生可能エネルギーを最大限活用することが重要です。その上で、暮らしや生産性の向上、地域の活性化といった、次なる成長とその好循環につながるよう、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、全庁一丸となって取り組んでまいります。また、ICTやAI、ロボットなどの未来技術を活用した社会の実現に向けて、ドローンの実証を進めるなど、地域課題の解決に向けたデジタル化の取組を加速します。こうした取組を支える本道と本州を結ぶ送電と通信の2つの海底ケーブルの整備や、洋上風力など再生可能エネルギーの供給拡大に取り組み、「北海道データセンターパーク」の実現につなげてまいります。食料安全保障の重要性の高まりに対しては、我が国最大の食料供給地域である北海道としての役割をより一層発揮できるよう、生産力と競争力の強化を積極的に進めてまいります。

本年は、国内外から大きな注目が集まるG7気候・エネルギー・環境大臣会合やアドベンチャートラベル・ワールドサミット2023、全国豊かな海づくり大会が開催されるほか、北海道ボールパークFビレッジも開業します。こうした好機を確実に捉え、本道の魅力や強みを国内外に向けて発信していくことが重要となります。道民の皆様とともに、直面する様々な困難を乗り越え、北海道の価値を一層磨き上げながら、活力あふれる北海道の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭あいさつ

札幌市長

秋 元 克 広



年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の流行が続き、医療従事者の皆さまをはじめ、市民・事業者の皆さまには、感染症対策に多大なるご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。こうした一方で、オータムフェストなどを3年ぶりに会場で開催しましたほか、国内外からの観光客も回復の兆しが見られるなど、感染症対策と社会経済活動の両立に向けて着実に歩みを進めることができた1年であったと感じております。

さて、私が市長に就任してから7年8カ月が経過しましたが、この間、人口が減少局面にある中でも、札幌のまちが将来も持続的に発展していくためには、若い人が地元就職し、安心して暮らせる環境づくりが重要と考え、まちの経済力を高め、その成果を子育てや福祉などに還元していく好循環を形成することに力を入れてまいりました。

まず、経済の分野では、積極的に企業誘致に取り組むとともに、人材育成や新たなビジネスを創出するための拠点整備など、魅力ある雇用の創出に努めてまいりました。

また、子育てや福祉の分野では、保育所定員の拡充や、ひとり親家庭が必要とする情報を手軽に入手できるよう、AIを活用したチャットボットを導入しましたほか、福祉に関する課題を複合的に抱える方を組織横断的に支援する体制を一部の区に整備するなど、誰もが安心して暮らせる環境づくりに取り組んでまいりました。

さらには、近年、担い手不足や加入率の低下などの課題が生じている町内会の意義や重要性を、町内会・市民・事業者・市が共有していくため、「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」を制定いたしました。この条例をよりどころとして、より暮らしやすいまちの実現に向けた取り組みを進めてまいります。

今年4月には、札幌市において「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」が開催されます。札幌市では、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年比で約六割を削減するという高い目標を掲げ、気候変動対策を積極的に進めておりますので、今回の大臣会合を通じて、札幌市の環境への取り組みを国内外に発信するとともに、市民・事業者の皆さまと一丸となって脱炭素社会の実現に向けた動きを加速させてまいります。

また、今年は3年ぶりにさっぽろ雪まつりを会場開催いたしますほか、9月には体験型観光の国際会議であるアドベンチャートラベル・ワールドサミットが北海道で開催され、市内でもさまざまな会合が行われます。こうした機会を捉え、感染症の影響などで落ち込んだ経済・観光の再生とさらなる魅力向上につなげてまいりたいと考えております。

今年も引き続き、感染症への対応など目前の課題解決に取り組むとともに、将来も持続可能な都市・さっぽろの実現に向けて、市民・企業の皆さまの力を結集し、札幌がさらなる飛躍を遂げ、世界をリードするまちとなるよう全力で取り組んでまいりますので、どうか皆さまのお力添えをお願いいたします。

結びに、本年が皆さまにとって、素晴らしい一年となることを心より祈念申し上げます。



■ 令和4年 後期の事業の主なもの ■

■ 研修等の事業 ■

■ 北大大学院農学研究院での出前講座

日 時：7月1日（金） 13：00～

場 所：北海道大学構内（農学部 S11 講義室）

受講者：北海道大学大学院農学研究院 花卉・緑地計画学研究室 学生9名、教員2名

説明者：畑山副会長、廣部総務委員長、大角氏（㈱サンコー緑化 技術課長）、加藤専務理事

■講義1 「実際の造園工事における造園施工管理について」

講師：㈱南香園 代表取締役 廣部 修平 氏

■講義2 「実際の施工現場における施工管理の仕事・役割・課題等」

講師：㈱サンコー緑化 環境事業部技術担当課長 大角 清人 氏

大変熱心な質問が相次ぎ、予定時間を15分超過して終了した。



■ 札幌市立大学デザイン学部での出前講座

日 時：7月15日（金） 9：00～

場 所：札幌市立大学構内（G棟2階 階段講義室）

受講者：札幌市立大学デザイン学部 ランドスケープアーキテクト専攻（2・3年生40名）

説明者：廣部総務委員長、加藤専務理事

■講 義 「造園施工会社の景観形成における役割と責任」

講師：㈱南香園 代表取締役 廣部 修平 氏





当別高校 現場見学会

日時：8月24日（水） 10：00～13：40

場所：①屯田西公園施設改修工事（北区屯田4条9丁目、マルミプラス(株) 施工）

②平和通公園再整備工事（白石区平和通9丁目北、(株)横山造園 施工）

③昼食（モエレ沼公園 ガラスのピラミッド スペース1 研修室）

※①、②ともに現場の代理人から概要説明後、現場見学、質疑応答。

見学者：北海道当別高等学校 園芸デザイン科 生徒14名、教員3名



屯田西公園施設改修工事の視察



屯田西公園施設改修工事の視察



屯田西公園施設改修工事の視察



平和通公園再整備工事の視察



平和通公園再整備工事の視察



平和通公園再整備工事の視察



平和通公園再整備工事の視察



嘉屋会長より、挨拶



嘉屋会長より、挨拶



北大大学院 現場見学会

日時：9月27日（火） 9：30～14：20

場所：①農試公園施設改修工事（西区八軒5条西6、8丁目、マルミプラス(株) 施工）
 ②百合が原公園施設改修工事（北区百合が原、(株)サンコー緑化 施工）
 ③美しが丘シープヒル公園再整備工事（清田区美しが丘2条5丁目、雪印種苗(株) 施工）
 ※①、②、③ともに現場の代理人から概要説明後、現場見学、質疑応答。

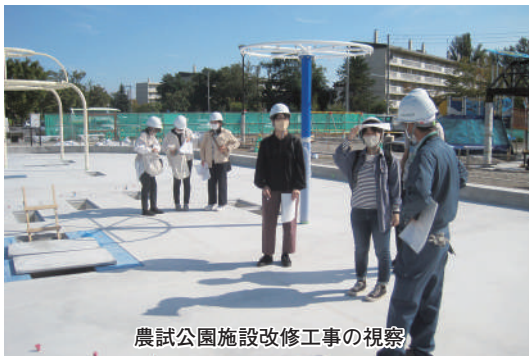
見学者：北海道大学大学院農学研究院花卉・緑地計画学研究室（学生10名・教員1名）



農試公園施設改修工事の視察



農試公園施設改修工事の視察



農試公園施設改修工事の視察



百合が原公園施設改修工事の視察



百合が原公園施設改修工事の視察



百合が原公園施設改修工事の視察



畑山副会長より、挨拶



美しが丘シープヒル公園整備工事の視察



美しが丘シープヒル公園整備工事の視察



経営者研修会

日時：10月6日（木） 15：00～16：00

場所：キヤノンシステムサポート㈱（札幌市中央区北3条西4丁目）または、オンライン視聴

出席者：23名（現地参加7名、オンライン参加13名、事務局3名）

講演：「サイバーセキュリティ研修」

講師 キヤノンシステムアンドサポート㈱東京支社 柳沢 直樹 氏

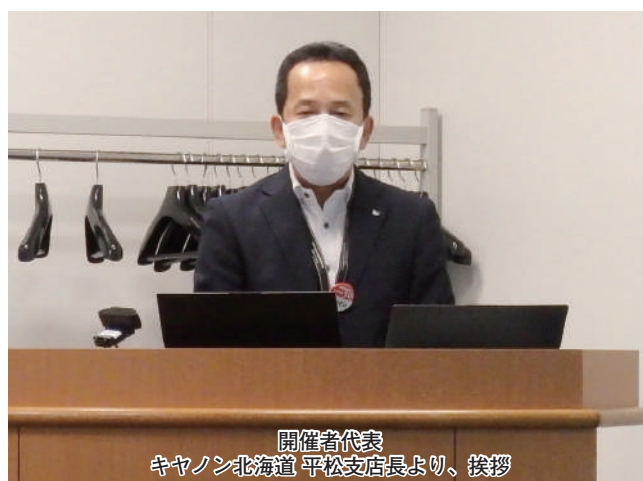
《講演要旨》

現在、企業を取り巻く環境は、サイバー攻撃の脅威が日々増大しており、サイバー攻撃に対する備えは、中小企業にとって避けられない経営上の課題となりつつある。

このことから、本研修会では、情報セキュリティの専門家からサイバー攻撃の実態や想定される被害、中小企業における体制整備の実態を解説してもらい、中小企業が事前に講じておくべき対策などについて講演いただいた。



主催者代表 佐々木理事より、挨拶



開催者代表
キヤノン北海道 平松支店長より、挨拶



講演の様子



閉会挨拶 廣部総務委員長



庭園樹剪定技術講習会（北造協札幌支部）

日時：9月5日（月） 9：20～14：35

場所：平岡樹芸センター（札幌市清田区平岡4条3丁目1）

講習：マツ類の剪定（3年継続予定）

講師：3名（（一社）札幌造園協会 理事長 奥内氏、札幌造園技能士会 福井・鈴木の両氏）

参加者：14名

共催：（一社）札幌造園協会



開会式の様子



実地実習の様子



修了書の授与

第2回安全パトロール・公園工事編（北造協札幌支部）

日時：10月13日（木） 13：30～15：40

場所：①どんぐり公園再整備工事（中央区北7～8条西23丁目、㈱横山造園 施工）

②農試公園再整備工事（西区八軒4条6丁目、㈱市川造園 施工）

参加者：会員15名・札幌市7名 計22名

講師者：札幌市中央区土木部維持管理課長	西川	実氏
札幌市北区土木部維持管理課長	高橋	英和氏
札幌市みどりの推進部造園担当課長	佐藤	豊氏



どんぐり公園再整備工事



農試公園再整備工事

■ 普及啓発等の事業 ■

造園技術講演会

日時：10月18日（火） 13：30～16：45

場所：ロイトン札幌 2階ハynesホール
（札幌市中央区北1条西11丁目）

参加者：94名（申込103名）



会場の様子

【第1部】 13：40～15：10

演題：「海外の街路樹マネジメントから学ぶ、これからの街路樹のあり方」

講師：當内 匡氏（株式会社 庭樹園 代表取締役・日本造園建設業協会 国際委員会副委員長・
「街路樹は問いかける」（日本造園学会賞受賞）共著）

《講演要旨》

西洋の街路樹を参考に明治期に導入された日本の近代街路樹。当初は西洋のように風格のあるものであったが、近年、抑制剪定の慣習化、台風等による倒木回避、共同溝との交錯などにより、質や量においてもより寂しいものとなってきている。

それに対し海外においては今、気候変動や都市温暖化防止の対策として、街路樹は緑化政策の要といえるほど重要性が増し、樹冠被覆率の向上に取り組まれ始めている。

米国やドイツなどの海外における街路樹の位置付け、評価、データ管理、剪定、保護手法などを詳しく解説する。今後の日本の街路樹のあり方を再考する機会となれば幸いです。



第1部講師 當内 匡氏





【第2部】 15:20～16:45 「みどりの社会的価値を評価する」

講師：愛甲 哲也 氏（北海道大学大学院農学研究院 准教授）

《講演要旨》

みどりが様々な効用を都市生活にもたらしていることに、疑問を抱く関係者はいないでしょう。しかし、私たちは、みどりの多様な価値を正しく計測し、記録し、伝えることができているのでしょうか。投資の効果を検証することは適切なマネジメントに不可欠ですし、検証できないものは社会的に認知され、政策課題として取り上げられることも期待できません。

心理学や経済学をベースにした評価手法や、ICTを活用した計測手法などについて、ガーデンフェスタ北海道2022の来場者数計測をはじめ、最新の事例を紹介します。



第2部講師 愛甲 哲也 氏





緑麗会 大通花壇造成

日時：9月6日（火） 13：00～14：30

場所：大通公園7丁目・南東花壇

参加者：6名

造園業界と業界で活躍する女性のPRのため、「造園業界の女性だけで作る花壇」（ボランティア花壇）を出展。夏花壇の傷んでしまった花苗の植え替え作業を行いました。





緑麗会 大通花壇の撤去作業

日時：10月31日（月） 9：00～10：00

場所：大通公園7丁目・南西花壇（ボランティア花壇）

参加者：8名

シーズン終了のため、花苗の撤去作業を行いました。

力仕事の枕木の撤去・運搬は、(株)高島造園工業の男性職員の方々に、作業を依頼しました。

いつもご協力くださり、ありがとうございます。

今年の大通花壇事業は無事に終了しました。来年春、造成作業のご協力をお願いいたします。

気軽にご参加お待ちしております。また、来年度は花壇デザインを北造協会員に公募する予定です。



花苗の撤去作業



枕木撤去の準備



参加者で集合写真

《令和4年度 緑麗会の大通花壇》



春の花壇



夏の花壇



来年もきれいな花壇を作ります！お気軽に参加してくださいね。

お待ちしております。 北造協・女性部 緑麗会



■ 要望活動の推進 ■

（一社）日本造園建設業協会北海道総支部と合同の意見交換（要望）

意見交換（要望）「憩いと安らぎを与える緑化の推進について」

- ・造園関連予算の安定的な確保
- ・道路緑化の推進
- ・公園等の整備・改修工事の推進
- ・道路・河川などの法面植生工事の分離発注
- ・担い手の確保・育成のための支援の拡大

1 北海道 総合政策部知事室

日 時 8月22日（月） 13：30～

2 北海道 建設部

日 時 8月22日（月） 14：00～

3 北海道 空知総合振興局札幌建設管理部

日 時 8月22日（月） 15：00～

4 国土交通省北海道開発局 網走開発建設部

日 時 10月3日（月） 13：15～

5 北海道 オホーツク総合振興局網走建設管理部

日 時 10月3日（月） 14：30～

6 国土交通省北海道開発局 釧路開発建設部

日 時 10月4日（火） 13：00～

7 北海道 釧路総合振興局釧路建設管理部

日 時 10月4日（火） 14：30～

8 国土交通省北海道開発局 函館開発建設部

日 時 10月11日（火） 14：00～

9 北海道 渡島総合振興局函館建設管理部

日 時 10月11日（火） 15：20～

10 国土交通省北海道開発局 帯広開発建設部

日 時 10月17日（月） 13：15～

11 北海道 十勝総合振興局帯広建設管理部

日 時 10月17日（月） 14：15～

12 国土交通省北海道開発局 小樽開発建設部

日 時 10月24日（月） 13：15～

13 北海道 後志総合振興局小樽建設管理部

日 時 10月24日（月） 14：20～



三橋知事室長へ要望書手交



建設部との意見交換



札幌建設管理部との意見交換



札幌建設管理部 金澤副局長へ要望書手交



14 国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部

日 時 11月2日（水） 13：15～

15 北海道開発局

日 時 11月10日（木） 11：00～

16 郵送による要望を行った道の出先機関

北海道 宗谷総合振興局、上川総合振興局、胆振総合振興局、留萌振興局



網走開発建設部との意見交換



釧路総合振興局との意見交換



函館開発建設部との意見交換



十勝総合振興局との意見交換



小樽開発建設部との意見交換



石塚開発局長へ要望書手交

札幌市への要望活動（札幌支部）

日 時：12月16日（金） 11：00～

場 所：札幌市みどりの推進部会議室（札幌市中央区南1条東1丁目）

要望内容 ・緑化関連予算の確保について
・入札制度について
・経営の継続と安定化について



要望書の手交



嘉屋支部長 挨拶



高橋みどりの推進部長 挨拶



自民党団体政策懇談会

日時：10月13日（木） 11：00～

場所：北海道議会 4階自民党大会議

対応者：松浦道連政調会長、本間道連副会長、中司議員会教育振興議連会長、船橋道議会農政常任委員長、丸岩道議会人口減少問題副委員長、佐々木、村田 各道連政調会委員

訪問者：嘉屋会長、四宮・畑山両副会長、加藤専務理事、阿部事務局長



札幌市造園緑化推進議員連盟 懇談会・懇親会（札幌支部）

日時：12月9日（金） 懇談会 17：30～／懇親会 18：00～

場所：札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目）

来賓：札幌市建設局長 天野 周治 氏

参加者：札幌市議会議員 三上 洋右会長 以下 議員 7 名
北造協札幌支部 嘉屋支部長 以下 9 名



嘉屋支部長 挨拶



三上議連会長 挨拶



天野建設局長 挨拶



高橋議連副会長 挨拶



令和4年度 国土交通大臣表彰受賞式



日時：10月28日（金） 14：00～

場所：日本教育会館 9階 第5会議室（東京都千代田区三ツ橋 2-6-2）

受賞：令和4年度 都市緑化及び都市公園等整備・保全・美化運動における
都市緑化功労者国土交通大臣表彰

受賞者：（一社）北海道造園緑化建設業協会 理事 佐々木 一敏 氏（株）サンコー緑化 代表取締役）

造園技術の継承や都市緑化事業に永年にわたり従事するなど、都市緑化推進に顕著な功績があった人に対して表彰を行っています。



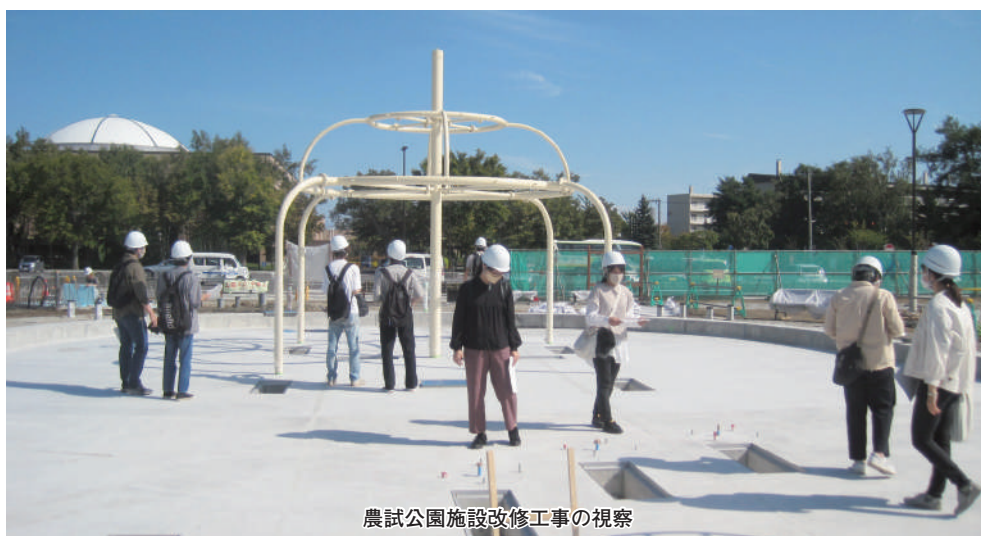
現場見学会に参加して

北海道大学農学部 花卉・緑地計画学 3年

宮 島 凜・野 村 康 太・吉 野 航 大・佐 藤 舜 紀

2022年9月27日、北海道造園緑化建設業協会の皆様による現場見学会に、農学部・農学院の学生10名で参加させていただきました。本見学会では、工事を担当する方々のお話を聞きながら、普段は立ち入ることができない施工現場内における作業の様子や現場の雰囲気、施工途中の設備などを見学させていただき、実際の造園工事に対する理解を深めることができました。7月に開催いただいた出前講座に続き、今回の現場見学も大学での講義とは異なった大変貴重な体験となりました。

最初は、農試公園で現在改修中の「ちゃぷちゃぷ広場」を見学させていただきました。今回の改修は全面的でほとんど最初から作り直しているということで、水の排水機構や塗装面などを、工事現場に入り詳しく説明していただきました。ちゃぷちゃぷ広場は散水機能の付いた遊具が配置される本格的な子供の水遊び場で、普通の公園ではあまり目にすることがない施設だったこともあり、散水用の遊具や排水の仕組みなど目新しいものが多く新鮮に感じました。また、プール内の大型の遊具も周辺の遊具広場との景観の調和を考慮していることが伝わるものであり、歩道に沿って植えられるアジサイの植栽と合わせ、既存の公園空間に溶け込みつつ、かつ水辺らしい空間を演出するデザインが工事現場からも見て取ることができました。



農試公園施設改修工事の視察



次に、百合が原公園内の日本庭園の改修現場を見学させていただきました。ここでは、日本庭園の構成要素として重要な“橋”と“池”について、改修の方法とその過程を説明していただきました。現時点ではまだ工事途中ではあるものの、水の張られていない池の中に橋の土台が並んでいる光景を見て、庭園内の風景をより近くに眺めることが可能となる改修後の様子が目に浮かぶようでした。また、空港に近いため大型のクレーンを用いた搬出が出来ないなど、現場では立地に合わせた機材の導入が不可欠であるというお話が印象に残っています。現場ごとに条件や環境の異なる中、それぞれで最善を尽くすことにより各地で素晴らしいランドスケープが完成するのだと実感できました。

最後に、美しが丘シープヒル公園の現場を見学させていただきました。この公園は全面的な再整備工事中で、築山や遊具の整備が行われていましたが、街区公園ということで農試公園や百合が原公園とは違った形の現場を見学することが出来ました。資材的な面では現地調達为重んじられており、築山を作る際の土は再整備工事の現場で出たものを利用していると伺い、資源の有効利用といった側面にも気を配っていることを教えていただきました。また、小学校が近いため子供向けの遊具が欲しいといったように、地域住民の声や要望に則した整備計画が立てられており、これに沿って工事が進められているといったお話も伺いました。今回見学させていただいた街区公園では、整備の段階から地域住民と密接な関係があり、メインの利用者である地域住民の意見を取り入れるということの重要性を学ぶことができました。これは私たちが大学で学んでいる緑地空間の設計実習においても、利用者のニーズを意識した設計を行う上で大変参考になりました。

今回の現場見学会を通し、緑を伴う身近な空間が実際に出来上がるまでの過程を直に見て認識し直すことができました。設計、施工、そして維持管理をきちんと踏まえた観点でランドスケープを考えることは、今後の大学での実習から将来の職業選択にまで広く役立つことと思います。今回、本見学会とそれに先立つ出前講座を通して貴重な気づきと学びの機会を提供いただいた一般社団法人北海道造園緑化建設業協会の皆様には改めてお礼を申し上げます。



百合が原公園施設改修工事の様子



美しが丘シープヒル公園整備工事の視察

北造協同好会の活動報告

「春季船釣り大会」(みどりの釣同好会)

日 時：7月2日(土) 5:00 出港・12:30 帰港
場 所：石狩花畔埠頭出港→厚田沖 参加者：8名

立派なマフグは、
その日のうちに、ご近所のお寿司
屋さんで調理され、美味しく胃袋
に納まったそうです！

順位	氏 名	所 属	3尾総重量(kg)	魚種身長(cm)
優 勝	岡崎 康司	(株)山古高島造園	4.40	54.0
準優勝	角田 紀貴	(株)サンコー緑化	4.11	50.0
3 位	竹村 繁明	岩崎造園土木(株)	2.90	—
4 位	田森 宣行	(有)タモリ建商	2.60	46.0
5 位	長谷川 孝	(株)サンコー緑化	2.49	—



およそ3年振りの開催となったみどりの釣り大会。

気温18度。波風も少なく絶好のコンディションの中、釣船「鷹丸」いざ出港。

開始序盤いきなり50cm級の「マフグ」がヒット(これほどの大物は滅多にお目にかかれませんが)。

その後好ポイントを転々としましたが、ガヤそしてまたガヤのオンパレード。

時々ソイ・アブラコ。潮周りが早く爆釣とはいきませんでした。各々楽しい時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。あのマフグは美味しかったかな～？…



参加者全員で記念撮影

「第1回ゴルフ大会」(北造協ゴルフ同好会)

日 時：7月15日(金) 12:28 スタート
場 所：札幌芙蓉カントリークラブ
参加者：20名

順位	氏 名	所 属	TOTAL	HDCP	NET
優 勝	桑島 健	マルミプラス(株)	86	14.4	71.6
準優勝	吉村 仁志	北海日植(株)	91	19.2	71.8
3 位	河原 健光	(株)アイティエス札幌事業所	97	25.2	71.8
4 位	吉田 巧	(株)横山造園	85	12.0	73.0
5 位	大川 澄雄	アルファ電建(株)	84	10.8	73.2



優勝の桑島さん(左)と準優勝の吉村さん



参加者全員で記念写真



協会の動き 令和4年7月～12月

7月

- 1日 北大大学院農学研究院での出前講座
- 2日 令和4年度春季船釣り大会
- 5日 令和4年度第1回ゴルフ大会
- 6日 札幌支部 第1回事業委員会
- 7日 第1回事業委員会
- 15日 第2回植生技術委員会
- 23日 令和4年度北海道造園懇話会「現場見学会」

8月

- 24日 当別高校 現場見学会
- 25日 第4回事業推進委員会

9月

- 5日 札幌支部 令和4年度庭園樹剪定技術講習会
- 6日 緑麗会 大通花壇一部植え替え作業
- 14日 札幌支部 第2回総務委員会
- 27日 北大大学院 現場見学会
- 27日 第43回建設産業交通安全全国大会

10月

- 6日 経営者研修会
- 13日 令和4年度団体政策懇談会
- 13日 札幌支部 第2回安全パトロール・公園工事編
- 18日 令和4年度造園技術講演会
- 19日 第6回北海道暴力団追放道民大会並びに第34回札幌地区暴力追放総決起集会
- 21日 札幌支部 第2回事業委員会（※ Web 会議）
- 28日 第1回事業委員会役員会
- 31日 緑麗会 大通花壇撤去作業

11月

- 2日 令和4年度意見交換会（札幌開発建設部・北海道開発局）
- 9日 札幌支部 第4回幹事会
- 11日 令和4年度北海道造園緑化関係団体連絡協議会 定期総会・幹事会
- 16日 令和5年度北海道造園懇話会 第1回幹事会
- 21日～23日 若手経営幹部研修会 中国地方視察研修
- 22日 第3回植生技術委員会

12月

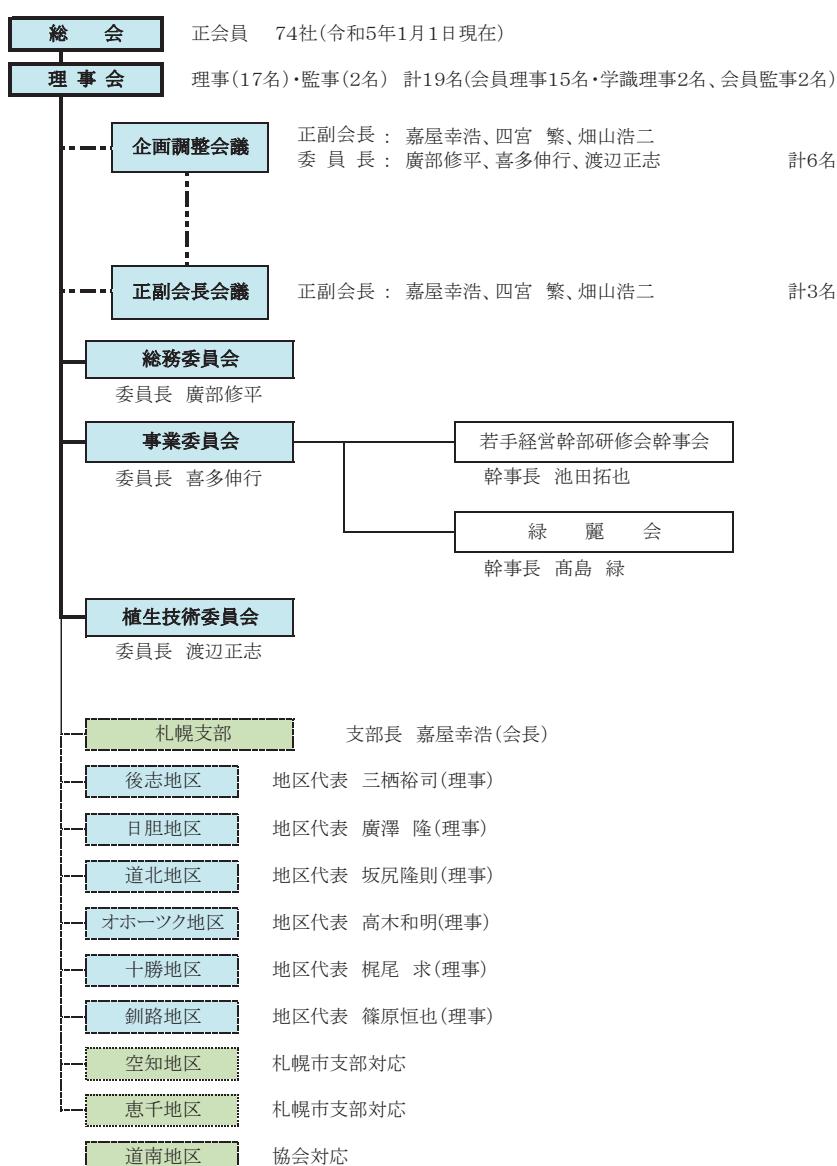
- 9日 札幌支部 令和4年度札幌市造園緑化推進議員連盟 懇談会・懇親会
- 10日 第1回緑麗会会議
- 16日 札幌支部 札幌市へ緑化推進政策に関する要望
- 19日 第2回総務委員会（※ Web 会議）



一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会 組織体制図

令和5年1月1日 現在

会 長	嘉屋幸浩
副 会 長	四宮 繁、畑山浩二
理 事	会員理事： 嘉屋幸浩(㈱園建)、四宮 繁(㈱四宮造園)、畑山浩二(日本緑化工(株)) 梶尾 求(㈱梶尾花園)、嘉屋幸治(㈱蔵田喜芳園)、喜多伸行(横浜植木(株)北海道支店)、坂尻隆則(㈱緑土興産)、 佐々木 一敏(㈱サンコー緑化)、篠原恒也(㈱篠原園芸)、高木和明(㈱高木園芸)、武田 久(㈱札幌ニット)、 廣澤 隆(㈱道南レミック)、廣部修平(㈱南香園)、細田洋介(㈱細田造園)、三栖裕司(㈱宝樹造園) 学識理事： 加藤建一(専務理事)、北原良紀(常務理事)
監 事	会員監事 大川澄雄(アルファ電建(株))、吉村仁志(北海日植(株))



顧 問	愛甲哲也(北海道大学大学院農学研究院)、河原正幸(勇建設(株))、木村 篤(道路建設(株))、棚橋伸男((一社)未来教育サポート)、 福田尚人(㈱開成舎)、福原賢二((一社)ランドスケープコンサルタンツ協会)、三木正俊(弁護士)、渡邊直樹(岩田地崎建設(株))
相 談 役	神原喜好(北海日植(株))、森 正志(㈱森造園)

一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会会員

正会員 74社 (令和5年1月1日現在)

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	T E L
【札幌地区】46社				
(株) 有 末 造 園	金子 光男	〒003-0822	札幌市白石区菊水元町2条5丁目3番1号	(011) 871-2101
アルファ電建(株)	大川 澄雄	〒007-0844	札幌市東区北44条東13丁目2番5号KS44	(011) 741-8611
(株) 市 川 造 園	市川 秀一	〒007-0874	札幌市東区伏古14条3丁目13番10号	(011) 783-5411
(株)岩崎造園土木	西村 卓也	〒007-0894	札幌市東区中沼西4条1丁目3番12号	(011) 790-4577
(株) 岩 本 石 庭	岩本 任功	〒005-0003	札幌市南区澄川3条2丁目5番7号 ブルークビル3F	(011) 833-5128
(株) 園 建	嘉屋 幸浩	〒004-0042	札幌市厚別区大谷地西6丁目2番3号	(011) 891-7111
(株)蔵田喜芳園	嘉屋 幸治	〒004-0878	札幌市清田区平岡8条1丁目13番23号	(011) 886-8235
(株)グリーンメイク・ハラダ	川合 紀幸	〒007-0827	札幌市東区東雁来7条2丁目12番12号	(011) 783-4500
(株) コ ク サ ク	早坂 有生	〒062-0052	札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番89号	(011) 851-2111
(株)札幌ニット	武田 久	〒003-0024	札幌市白石区本郷通4丁目南2番9号	(011) 864-3477
(株) 札 幌 緑 興	梶野 陽一	〒004-0002	札幌市厚別区厚別東2条3丁目1番5号	(011) 898-1051
(株)佐藤萬香園	佐藤 伸一	〒001-0024	札幌市北区北24条西15丁目1番7号	(011) 726-2930
(株)サンコー緑化	佐々木一敏	〒003-0828	札幌市白石区菊水元町8条1丁目8番21号	(011) 875-1608
(株) 四 宮 造 園	四宮 繁	〒004-0022	札幌市厚別区厚別南3丁目2番25号	(011) 892-0881
(株) 集 楽 園	小玉三智子	〒005-0801	札幌市南区川沿1条5丁目1番15号	(011) 571-8897
(株) 真 栄 造 園	池田 智仁	〒004-0839	札幌市清田区真栄487番地	(011) 881-3475
(株)真栄緑化土木	橋本 悟	〒004-0831	札幌市清田区真栄1条1丁目15番11号	(011) 881-8951
(株)スペース・デザイン工業	高橋 宏明	〒006-0034	札幌市手稲区稲穂4条5丁目6番12号	(011) 684-1657
(株)高島造園工業	高島 緑	〒004-0812	札幌市清田区美しが丘2条4丁目17番20号	(011) 881-2975
(株) 高 重 造 園	佐和田 匠	〒064-0806	札幌市中央区南6条西26丁目4番1号	(011) 551-1765
(有)タモリ建商	田森 征詔	〒062-0033	札幌市豊平区西岡3条10丁目1番20号	(011) 855-0866
道 央 緑 化 (株)	星野 智	〒002-0854	札幌市北区屯田4条8丁目6番34号	(011) 773-0686
(株)道建緑化工業	川口 敦	〒064-0925	札幌市中央区南25条西11丁目1番12号	(011) 531-0166
(株) 南 香 園	廣部 修平	〒060-0011	札幌市中央区北11条西15丁目1番52号	(011) 747-9266
(株)ニットメンテナンス	川村 光徳	〒003-0023	札幌市白石区南郷通4丁目北4番20号	(011) 863-6870
日本体育施設(株)北海道営業所	甲斐 聖	〒063-0006	札幌市西区山の手6条7丁目2番17号	(011) 614-1321
(株) 日 本 庭 園	伊藤 哲弥	〒006-0819	札幌市手稲区前田9条11丁目5番30号	(011) 684-2458
日本緑化工(株)	畑山 浩二	〒002-8028	札幌市北区篠路8条5丁目2番1号	(011) 775-3200
(株) 平 野 造 園	平野 一美	〒003-0027	札幌市白石区本通7丁目北1番23号	(011) 863-2384
(株) 細 田 造 園	細田 洋介	〒005-0841	札幌市南区石山1条7丁目1番14号	(011) 591-3041
北海道秋山造園(株)	目黒 忠	〒007-0837	札幌市東区北37条東16丁目3番1号	(011) 785-6115
(株)北海道造園コンサルタント	荻野 和彦	〒004-0022	札幌市厚別区厚別南3丁目2番24号	(011) 887-9091
北海道三祐(株)	笹浪 圭吾	〒002-0856	札幌市北区屯田6条8丁目9番12号	(011) 773-5121
北 海 日 植 (株)	吉村 仁志	〒001-0023	札幌市北区北23条西7丁目1番33号北海NISSHOKUビル	(011) 707-6201
北方緑化工業(株)	鎌田 浩	〒062-0934	札幌市豊平区平岸4条3丁目6番5号	(011) 811-3897
(株) 真 鍋 造 園	真鍋 昌市	〒062-0020	札幌市豊平区月寒中央通6丁目2番16号	(011) 851-8028
マルミプラス(株)	刈田 晋弥	〒002-8023	札幌市北区篠路3条7丁目5番14号	(011) 771-2438
(株) 森 造 園	森 正光	〒062-0052	札幌市豊平区月寒東2条20丁目8番5号	(011) 851-8534
(株)森造園土木	斉藤 靖	〒005-0842	札幌市南区石山2条9丁目5番7号	(011) 591-8435
(株)山吉高島造園	高島 利夫	〒007-0867	札幌市東区伏古7条2丁目3番16号	(011) 781-2235

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	T E L
(株) 湯 川 造 園	湯川 淳	〒004-0842	札幌市清田区清田2条2丁目14番37号	(011)884-7071
雪 印 種 苗 (株)	高山 光男	〒004-8531	札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号	(011)891-5691
横浜植木(株)北海道支店	喜多 伸行	〒003-0029	札幌市白石区平和通14丁目北2番16号	(011)862-3561
(株) 横 山 造 園	小華和 坦	〒063-0826	札幌市西区発寒6条5丁目5番3号	(011)661-6283
緑化デザイン(株)	小林 勝美	〒065-0043	札幌市東区苗穂町4丁目1番8号	(011)741-5076
ロンタイ(株)札幌支店	小林 健嗣	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条4丁目4番2号	(011)823-5780
【空知地区】(3社)				
(株) 藤 樹 園	斉藤 靖	〒073-0405	歌志内市字神威140番地	(0125)42-2239
(株)北海道アトリウム	工藤 克彦	〒079-0313	空知郡奈井江町字奈井江町171番地35	(0125)65-5707
馬 淵 建 設 (株)	久保 隆	〒068-0833	岩見沢市志文町966番地15	(0126)25-6400
【後志地区】(2社)				
(株)阿部新香園	阿部 哲也	〒048-2671	小樽市オタモイ3丁目1番1号	(0134)26-2537
(株)宝 樹 造 園	三栖 裕司	〒048-2672	小樽市塩谷4丁目13番地	(0134)26-0488
【日胆地区】(5社)				
(株)金 谷 造 園	金谷 泰央	〒059-1741	勇払郡厚真町字上厚真219番地4	(0145)28-2537
景 観 緑 化 (株)	宮崎 洋二	〒053-0054	苫小牧市明野新町3丁目7番2号	(0144)55-4165
(株)道南レミック	廣澤 隆	〒053-0052	苫小牧市新開町3丁目4番3号	(0144)82-8661
長 岡 造 園 (株)	長岡 直人	〒053-0055	苫小牧市新明町5丁目29番9号	(0144)55-2736
緑 豊 建 設 (株)	矢部 繁	〒053-0021	苫小牧市若草町1丁目2番7号	(0144)32-7765
【道北地区】(3社)				
(株)石田兼松八興建設	石田 一彦	〒070-0810	旭川市本町2丁目437番地119	(0166)51-3211
北海道グリーン工業(株)	福地 弘明	〒079-8416	旭川市永山6条1丁目2番19号	(0166)22-6850
(株)緑 土 興 産	坂尻 隆則	〒071-8121	旭川市末広東1条7丁目7番9号	(0166)57-7620
【オホーツク地区】(5社)				
(株) 遠 藤	遠藤登志子	〒091-0004	北見市留辺蘂町上町134番地	(0157)42-3508
(株)高 木 園 芸	高木 和明	〒099-1586	北見市広郷1136番地3	(0157)39-3224
(株) タ ナ カ	田中 勝則	〒093-0042	網走市潮見2丁目15番1号	(0152)44-4353
(株) 緑 翔	井上 宏樹	〒099-1587	北見市豊地22番11号(工業団地)	(0157)66-1030
(株) 緑 進	田中 伸宏	〒090-0058	北見市高栄西町9丁目1番18号	(0157)61-0195
【十勝地区】(5社)				
(株)阿 部 造 園	阿部 英輝	〒080-0141	河東郡音更町宝来北1条2丁目2番地	(0155)31-2350
(株)イ ノ タ ニ	猪谷 直樹	〒080-0015	帯広市西5条南30丁目13番地	(0155)24-3073
(株)梶 尾 花 園	梶尾 求	〒080-0033	帯広市西3条北1丁目13番地	(0155)24-0505
(株)ケ イ セ イ	佐野 公彦	〒080-0805	帯広市東5条南7丁目1番地3	(0155)22-7115
(株)真鍋庭園緑化	真鍋憲太郎	〒080-0832	帯広市稲田町東2線6番地	(0155)48-2120

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	T E L
【釧路地区】（5社）				
(株)アヤメ緑化工業	菖蒲 哲也	〒086-1127	標津郡中標津町西7条北4丁目1番地5	(0153)72-8535
大友造園建設(株)	大友 淳	〒084-0917	釧路市大楽毛4丁目3番4号	(0154)57-8226
(株)篠原園芸	篠原 恒也	〒085-0038	釧路市花園町5番4号	(0154)22-3230
(有)摩周植物園	古瀬 廣幾	〒088-3202	川上郡弟子屈町鈴蘭2丁目4番3号	(0154)82-2406
(株)ヨシダ造園緑化	吉田 英司	〒085-0814	釧路市緑ヶ岡2丁目36番15号	(0154)42-5270
【特別会員】（7社）				
(株)アイティエス札幌事業所	河原 健光	〒064-0925	札幌市中央区南25条西12丁目3番23号	(011)520-6800
カネコ種苗(株)札幌支店	石坂 伸彦	〒003-0030	札幌市白石区流通センター1丁目2番15号	(011)861-5659
(株)共成レンテム営業本部	堀 一敏	〒064-0809	札幌市中央区南9条西11丁目 きだパレス2階	(011)883-8283
正 栄 機 工 (株)	及川 泉	〒065-0024	札幌市東区北24条東16丁目1番6号	(011)785-8111
(株) 高 倉	遠藤 友二	〒064-0809	札幌市中央区南9条西8丁目2番33号	(011)511-3026
ハスクバーナ・ゼノア(株)北海道支店	木寺 隆	〒007-0827	札幌市東区東雁来7条2丁目12番5号	(011)594-8878
前田工織(株)札幌支店	吉田 浩一	〒065-0019	札幌市東区北19条東4丁目2番10号	(011)733-3360
【賛助会員】（7社）				
(株)建築資料研究社北海道支店	小路口 隆	〒060-0032	札幌市中央区北2条東4丁目 札幌ファクトリー三条館4階	(011)251-6010
下 村 太 郎		〒059-1275	苫小牧市錦岡813番地	(0144)68-6320
(株)トータルネットワーク	小島 恭平	〒060-0033	札幌市中央区北3条東3丁目1番30号 KNビル3階	(011)222-2155
(有)ナベックス	渡辺 良彦	〒069-0861	江別市大麻北町518番地78	(011)386-4409
(株)日産フィナンシャルサービス	内村 直友	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1丁目2-3 札幌フコク生命ビル1階	(011)796-5523
北海道日産自動車(株)	原田彦工門	〒065-0019	札幌市東区北19条東1丁目2番20号	(011)351-4123
山 下 裕 司		〒007-0895	札幌市東区中沼西5条1丁目5番15号	(011)555-9744

令和5年(第35回)

《造園CPD対象》

植生技術講演会

令和5年 **3月17日(金)** 13:30~17:00

ホテルポールスター札幌 2階「ポールスターホール」
(札幌市中央区北4西6 ☎011-330-2532)

定員:120名 **入場無料**

※申込締切 3月7日(火)

講演会のお申し込みは
協会ホームページからお願いします。
詳しくは裏面をご覧ください。

申込ページは、こちらから ⇒



第1部 13:40~15:10

『火山地域の災害跡地における
緑化をめぐる展望と課題』

講師 おかわ やすひろ
小川 泰浩氏
(森林総合研究所 森林防災研究領域 主任研究員)



第2部 15:20~16:50

『地域的な遺伝変異の評価と
地域性種苗のあり方』

講師 わがつま たかひろ
我妻 尚広氏
(酪農学園大学 農食環境学群 教授)



主催 (一社) 北海道造園緑化建設業協会 / 共催 (一社) 日本造園建設業協会北海道総支部



ひとと、ちいきと、あしたへ。
北海道の建設業

【申込先】 一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目2番地1太平洋興発ビル 2階

TEL 011-221-4451・FAX 011-232-5611

E-mail: lila-1976@hokuzoukyou.or.jp

講演会のお申し込みは、北造協ホームページより、 オンラインでお申込できます。(※スマートフォン対応可)

造園 CPD 単位申請の受付もこちらから。会員証をご用意ください。

お申し込み方法

- 北造協のホームページへアクセス。
(URL : <http://www.hokuzoukyou.or.jp/> または検索サイトにて「北造協」で検索)
- ホームページ内『ご案内』をクリック、「令和4年度 講演会申込み」の『WEB から参加申込する』より手順に沿って必要事項を入力し、送信ください。
- お申し込みのメールが到着後すぐに、受け付けたことをご確認いただくため「受付メール」を送信いただいたメールアドレスへ返信しますので、ご確認をお願い致します。(ご確認後は、削除していただいて構いません)

※メール受信拒否などの制限をかけている方は、「@hokuzoukyou.or.jp」を許可するように設定をしてください。

【造園 CPD の事前受付について】

- 講演会申込フォームの「参加者のお名前」欄に、下記の内容をご記入ください。

お名前(フリガナ) - CPD 会員 ID - 所属団体記号 (※記号の説明は北造協 HP の講演会申込ページに記載があります)

【例】建設太郎さん・CPDID 012345678901・日造協

参加者のお名前



講演会当日

- 当日、会場でお待ちしております。(受付にて来場確認をお願いいたします。)

【造園 CPD の単位取得について】

- オンラインで CPD の事前受付を行い、当日来場を確認できた方につきましては、当協会でご一括して単位取得の申請手続きをいたします。
- 当日会場受付にて、「受講者受付名簿(従来の受付方法)」も用意いたしますが、なるべくオンラインでの事前受付をお願いいたします。
- 「受講証明書」もご用意いたします。ご入用の際は受付にてお声かけ下さい。

〈お問い合わせ先〉一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会
TEL (011) 221-4451 / FAX (011) 232-5611

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も北造協の広報誌「みどり」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年は北海道の緑化関係者にとって意義深い1年でありました。まず6月17日から19日にかけて造園学会の全国大会が恵庭市・札幌市で開催されました。そして6月25日から7月24日には全国都市緑化北海道フェア（ガーデンフェスタ北海道2022）が開催され、予想を上回る約34万人の方が来場されました。私も何度か足を運びましたが、週末のみならず平日も多くの方で賑わっていたのが記憶に新しいです。地球環境問題やSDGsの達成にも大きく貢献する緑化について、北海道から発信できたことは非常に意義のあることであると思います。こうしたイベントを契機により多くの方が樹木や花、緑化といったことに興味を持っていただけると幸いです。

そして、スポーツでも明るい話題が多くありました。2月には冬季北京オリンピックで日本代表が冬季オリンピックとしては過去最多のメダルを獲得致しました。そして11月から12月にかけては男子サッカーワールドカップがカタールで開催され、グループリーグでドイツ・スペインといった強豪国を撃破し、日本史上初の2大会連続決勝トーナメント進出を果たしてくれました。私たちはこうしたスポーツ選手の輝かしい部分に目が行きがちですが、間違いなく他の誰にも知られない努力や苦勞を重ねて成果をあげられているのだと思います。

2022年は大変なこともありました。新型コロナウィルスの影響が続き、ロシアウクライナ情勢や円安に起因する急激な物価上昇が起こっています。明らかな環境変化が起こっている以上、今までと同じことを続けていては今まで通りの結果が得られないのは火を見るよりも明らかです。環境が変化しているのですから、自分たち自身も変化し、先に上げたスポーツ選手のように努力を続けて初めて成果が付いてくるものだとは私は思います。2023年が私たち造園業界にとって、北海道・日本にとって飛躍の年になることを祈念致します。

最後になりますが、総務委員会では広報誌「みどり」をはじめとした情報発信を積極的に行ってまいりたいところであります。関係者の皆様には広報誌への寄稿やアンケートへのご回答をお願いすることもあるかと存じますが、ご協力いただけますようお願い致します。

総務委員長 廣部 修平

北造協サポーター「ほくぞう」

北造協サポーター「ほくぞう」は、北海道に生息するエゾリス。まちの緑を守るため、造園建設業者の若手社員を口うるさく指導する。

厳寒期でも冬眠しない働き者。

木の実をせっせと植えて緑を増やすのが大好き。

するどいしっぽをノコの代わりにして剪定作業もこなし、樹木を育てている。

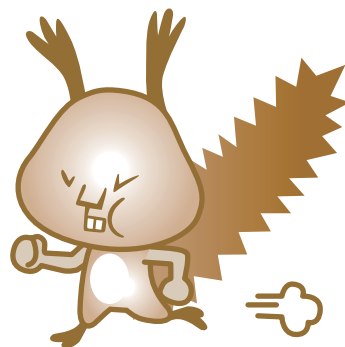
■表紙写真

第4回みどりの景観フォトコンテスト入賞作品

『桜に胸躍らせて』

撮影者：藤井聡美氏

撮影場所：浦河郡浦河町優駿さくらロード



総務委員会

委員長 廣部 修平

副委員長	池田 智仁・大川 澄雄
	大友 淳・鎌田 浩
	甲斐 聖・武田 久
	田森 宣行・中峰 勝美
	廣澤 隆・福地 弘明
	真鍋 昌市・三栖 裕司
	森 正光



シンボルマークのコンセプト

正三角形のグリーンのフォルムは北海道の代表樹エゾマツが天空に伸びてゆくさまを、白い3本のウェーブは大地を流れる川を示す。中央下のブルーの楕円は樹の幹を、それに続く楕円群は庭石を表し、協会の堅い結束と広がる交流を意図している。

一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会

札幌市中央区南1条東1丁目 太平洋興発ビル
TEL 011-221-4451/FAX 011-232-5611